



HAPPY BIRTHDAY

おめでとう はじめてのバースデー

10月に満1歳になる子どもたちを紹介します。



11.22 青士 柊惺くん 内子19第2
食べるの大好き♡ いっぱい食べて、すくすく元気に育ってね♡



11.16 渡部 旺斗羽くん 内子18第2
食欲旺盛！ 好奇心旺盛！ お兄ちゃん大好き♡



11.6 渡邊 奏花ちゃん 内子18第2
おうちでは活発で甘えん坊♡ まねっこが上手になってきました！



11.28 古川 愛莉ちゃん 内子17
いつも愛犬と一緒に♡ かわいい笑顔で家族を癒やしています♡



11.26 西川 惟月くん 内子18第2
好奇心旺盛な惟月くん。笑った顔が、くしゅつとなるのが最高♡

「はじめてのバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月上旬にお送りしています。ぜひ、応募してください。



INSTAGRAM みんなが見つけた／

内子のいいところ「うちコト」

「#うちコト」を付けて投稿してくれた写真を紹介しします。皆さんも#うちコトで内子町の「すてき」を投稿してみませんか。

uchikoto_official

見るだけでも楽しめるよ！ぜひ、フォローしてみてね！QRコードをスキャンすると簡単に見られます。



masa.a_photoさん
観月会で行灯に照らされる町並み。



hrky_photoさん
石畳地区で海外からの観光客を撮影。

FROM ME TO YOU



みんなでつないでリレーエッセイ



「葉っぱの木皿に感謝をのせて」

加藤 毅さん(51)
＝長田＝

私は長田地区で、さまざまな木々を刃物で削り、皿や椀などを作る木地師をしています。

広島県生まれの私が、大分県湯布院で木地師の修行を経て、長田に移住したのは19年前。振り返ると随分、長い月日が流れたものです。長田は昔ながらの人と自然との関わりや、住民同士のつながりが色濃く残る魅力あふれる里です。例えば、炭焼きやこんにやく作りなど、現代では希少になった生活文化が脈々と息づいています。一度失われたら取り戻すことが難しい、この里山の景色や文化がたまらなくいいと感じています。木地師という職業も絶滅危惧種といわれているので、なぜかそういうものに惹かれてしまう性分なのです。私には移住した当初からの夢があります。全国で木工芸による地域ブランドづくりをしていた、師匠・時松辰夫の理念を受け継ぎ、「山村クラブ

ト」を内子で実践することです。簡単にいうと、内子ならではの木製食器をデザインすること。しかし、その中には環境や文化、風景など広い意味が含まれており、なかなか「これだ」と思えるものが作れずに長年、悶々としていました。昨年、近所で目にした柏の葉っぱの形の美しさに感動し、「柏の葉皿」を作りました。完成したときは初めて内子らしい皿ができた実感。内子のことが「自分事」になってきたからこそ、ようやく納得いくものを作れたのだと思います。まだまだ課題は山積みですが、見守り支えてくれる人たちの感謝を忘れず、一歩ずつ歩みを進めていきたいです。

▼次は、太田利栄さん＝長田＝
をお願いします。

監修 内子町食生活改善推進協議会

／今月の食改さん／



松下佳代子さん
＝上町＝

●材料(4人分)

米	2合
里芋	200g
大豆(水煮)	100g
塩昆布	15g
だし汁	400ml

●作り方

- ①米をとぎ、ザルに入れて水気をきっておく。
- ②里芋の皮を取り、一口の大きさに切る。
- ③炊飯釜に①と②、④の材料を入れて炊く。
- ④炊いたら軽く混ぜ、器に盛り付けて完成。



季節の一皿

SPECIAL DISH

里芋と大豆の炊き込みご飯

Q 広報クイズ

「広報うちこ」11月号を読んで、①～⑤番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」「ゅ」や、「が」などの濁音も一文字とします。「●」の文字を①番から順につなぐと、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①みそぎの里で「○○○○●○○○○○○○」が開かれ、来場者はおいしいブランド米を味わいました
- ②農業委員・「○○●○○○○○○○○○」推進委員を募集します
- ③「○○●○○○○○○○○○」では各中学校の代表者が、それぞれのエピソードを英語で発表しました
- ④「●○○○○○○○」を読んでみませんか。後期文学講座を開催します
- ⑤奥長湊太郎さんの夢は航空パイロット。いつか「○○○●○○○」を操縦したいと語ってくれました

応募方法：ハガキに答え、氏名、住所、年齢を書いて送ってください（1人1通まで）。正解者の中から抽選で10人に図書カード（500円）をプレゼントします。
宛先：〒795-0392
内子町平岡甲168番地 内子町役場企画情報課 広報・広聴係
締め切り：11月30日（消印有効）
当選者発表：「広報うちこ」1月号

● 9月号当選者の皆さん

答え「しゅうぶん」 正解数29

- ・石田 獅人さん（内子18第2）
- ・篠崎 弘子さん（内子18第2）
- ・高松 誠一さん（上立山）
- ・小田 朝子さん（甲影山）
- ・國本 満子さん（中町）
- ・本山 真美さん（田ノ口）
- ・立脇 圭子さん（打木）
- ・畠岡千恵子さん（大洲市）
- ・岡山真喜子さん（東温市）
- ・松田 隆さん（大阪府）

屋外でのごみ焼きに関する苦情や相談が増えています。野焼きは一部の例外を除いて、法律で禁止されています。違反した場合は、5年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金、またはその両



家庭や田畑でごみ焼却 野焼きは法律違反です

- 方が課せられることがあります。火災の原因になるだけでなく、ビニールやプラスチック類を焼却すると有害物質の排出にもつながります。野焼きは絶対にやめましょう。
- 《例外で認められる野焼き》
- ▽稲わらや剪定枝の焼却など、農林業を営むため、やむを得ない場合
 - ▽たき火やキャンプファイアなどで、まきや木くずを燃やすこと
 - ▽どんど焼きなど、地域の習慣や祭事
 - ▽国や自治体が、道路や河川を管理する上で必要な草木

【問い合わせ】
環境政策室
☎0893(44)6159



多くの煙や灰が出て
しまう野焼き

などの焼却
《周囲への配慮を忘れずに》
例外として認められる場合でも、苦情や相談が寄せられたときは、行政指導の対象となります。時間帯や風向きに注意し、近隣に一声かけるなど、十分に配慮してください。

絵で地域を照らす、81歳のイラストレーター

横本 誠二さん（81）＝長田＝

イラストレーターの横本誠二さんは、昨年9月に内子町に移住してきました。長田地区を拠点に作家活動をしており、「お山の学校ながた」の看板をはじめ、地域のマップやイベントのチラシなどを手掛けています。

以前は今治市大島で、絵やアートを通して町おこしに取り組んでいた横本さん。「絵で人や地域の役に立ちたい」という思いを胸に、81歳の今も筆を走らせています。「内子町には美しい農村風景や昔ながらの町並みなど、すてきなところがいっぱい。大島での経験を生かし、その魅力を伝えたい」と目を輝かせます。

温もりを感じる横本さんの絵は地域の人にも評判で、自治会長の太田利栄さんは「過疎の地域をばっと明るくしてくれる。多くの人が訪れるきっかけになればうれしい」とほほ笑みます。のどかな自然や住民の優しさに惹かれ、何度も足を運ぶうちに長田が好きになったという横本さん。「いつまでもここで暮らしたいと移住を決心した。手描きのマップや地元農産物のPR看板など、やりたいことが次々と湧き出てくる。手が動く限り挑戦し続けたい」と思いを語りました。



「とんぼ」の作家名で活動する横本さん。作品は優しい色合いと温かみのあるタッチが特徴。絵にはたびたび住民が登場し、地域への愛情が伝わってくる



TOWN'S STAR

内子町の人☆キラリ

友人と高知で過ごす夏、心に残るひととき――



仁淀川でサップに挑戦するパトリスアさん

日本には豊かな自然を感じられる場所がたくさんあります。その中でも夏の高知県は別格です。私はこの夏、内子でできた友人たちと越知町を訪れ、アウトドアを満喫しました。

内子から車で約2時間、向かったのは青く澄んだ清流で知られる仁淀川です。ここではパドルをこいで水上を進む「サップ」に挑戦しました。この日は特に暑かったのですが、川に足を入れた瞬間、水の冷たさと気持ちよさに驚きました。インストラクターに教わりながら、パドルの使い方や方向転換の仕方を練習。ボードに座ってこぐのはすぐに慣れましたが、立ち上がるのは怖くてなかなか上手いきません。何度もチャレンジし、

ついに少しだけ立つことに成功。広く澄んだ川の上を進むのは開放的で、心まで軽くなりました。

夜はみんなでバーベキュー。肉が焼ける音を聞きながら、冷たいビールを片手に、おしゃべりを楽しみました。夕日が山の向こうに沈むのを眺めていると、穏やかな気持ちに包まれ、心から幸せを感じました。内子町に暮らして4年。友人たちが家族のような存在になっていることに気づき、胸がじんわりと温くなりました。食後には手持ち花火をして、揺れる光が友人の顔を照らすのを見ながら、「人生で一番大切なのは、こうした小さな幸せなんだ」と実感。この夏の思い出は私にとって、かけがえのない宝物です。



HELLO!!!

FROM AROUND THE WORLD

外国語指導助手

パトリスア・ルイス

Lewis Patricia